

議会で可決

- * 一般会計・特別会計予算の議案
- * 条例一部改正の議案
- * 承認
- * 同意
- * 陳情・要望
- * 条例制定の発議
- * 意見書提出の発議
- * 決議の発議
- * 一般質問

- 3件
- 1件
- 13件
- 1件
- 3件
- 1件
- 2件
- 1件
- 9名

本会議での質疑

●ごみ処理広域化計画推進に関する決議

問 (渡辺俊夫) 飯森候補地が断念されたというところで、その結果をどう受け止めて、この決議をされるのですか。

答 (太谷正治) 飯森候補地が断念された経緯は、候補地が突然出され、結果が急に発表され、住民の不信感

をかけたのが一因だと思っています。次の広域化計画では、候補地選定に当たって、住民の参加と学識者の意見を十分取り入れたものにしたいと考え、それを推進していきたいと思えます。

問 (渡辺俊夫) 議決文の最後に「ごみ処理広域化の必要性を再確認し」ということになっていますが、ごみ処理広域化計画、調査データ、計画に基づいて行われてきた審議内容、選定地、この全てを議会また議員として独自に

を検証されたのでしょうか。我々は常に住民の目線に立ち、またこの問題に関しては、学習・さまざまな形で研究しなければならぬ。常に計画は計画であり、その計画を評価しなければならぬと考え、この点についてお聞きしたい。

答 (太谷正治) ごみ処理特別委員会を立ち上げ、ごみの減量化・堆肥化等さまざまな問題について、長期・短期に亘り検討し、住民の納得が得られるような方向で進めていきたい。

問 (渡辺俊夫) 6月25日に住民懇談会が開催され、意見を集約していくという、そういう大事な場所が設定されているにも拘らず、その前に議会として推進していくと決議をすることに關して、住民の代表である議員はどう判断されるのか、住民の中に入って住民の意見を聞くということが責務ですが、その必要がないということになりま

すが、住民を無視するということにならないのでしょうか。

答 (太谷正治) 選挙を通して、皆さんにごみ問題について、色々な問題を提起し、意見を聞いています。全議員がそのような形で、村中を巻き込んだごみ問題については、十分に承知していることと思います。村が計画した25日のごみ問題の懇談会については承知していますし、我々も午後2時と7時2回ありますが、全議員都合を付け両方とも出席し、住民の意見を聞く所存です。我々はそれを無視したという気もありませんし、たまたま日にちが前後しましたが、それ以前に十分に住民の意見を聞いています。

問 (小林英雄) 私も、環境課から出された、「6月25日白馬村のごみ処理を考える住民懇談会を開催します」これが既に報道されています。私は、今なぜごみ処理特